

刊夕旦九十

忘春雨傘をもひ來ぬ
燕の來ることよ
いらく春雨る
浮碧樓
同
山與水

日十二月三
(頁八て世合と刊タ)

[illegible]

鼻組ハナグミ 陽春の好季に際し我社は毎日申報社と共に南北滿洲觀察團を組織し我が北隣の寶庫が吾人に與ふる新たなる意味を観察味得せんぞす

鼻團ハナダン 團員は朝鮮全道に向つて内地人及び朝鮮人の締結合せて一百名を募集す

品出 發 視察團は來る四月十五日（日）曜京城を出
發し同廿九日を以て歸著の上解散す

毎日申報社經理部長藤村忠助宛又は主權兩社の各地支
局宛便宜申込まれたし而して其の殘金七拾圓は必ず三
月卅一日迄に拂込まる可し

●會費 我社は前記の會費を以て二等往復汽車賃
 各地高等旅館泊料、辨當代及團體として各所視察の
 馬車、腕車、電車等團體的費用の一切を支辨す
●締切 團員は申込順に登録し三月三十一日を以
 て締切る但し其以前に一百名を超過する時は遺憾なが
 ら其以後の申込を謝絶す

大歡迎 視察團は各視察地に於て日、支、露の官憲
其他を訪問し又地方有志の歡迎會に列席す南北滿洲の
日本、支那、露國官憲及び各方面の諸會社銀行、民間有
力者は我社先發の準備委員の意を諒し團體の視察行動
上些の遺漏なからしめ個人としてほ到底爲す事能はざ
る視察を爲し得らるゝ諸般の便宜を與へらる

露都に於ける革命騒動、は先づ一
所語を告げ、貴政府は政綱を發表せ
り。其の政綱に依れば、貴政府によ
る、革命後の帝國は、共和國たらん
とするにあるものゝ如し。世間是れ
を見るもの、亦或は意外の感に打た
れざらんも、而も這は敢て、怪むに
足らざる也。何とならば、貴國今回
の革命は止の表向上に於ては、單に
鐵腕を排斥し、戦争の繼續を明か
く憂慮なき態度にて終る、可から
ざるを得るは互に相解り、相起くるからて
ある。凡そ世の中には總對の獨立な
るものはない。如何なる人でも總對
に獨立獨行すること出来。今日の
文明は我々の祖先の努力、神速の
おかげである。我々が安らかに衣食
住し得るは政府の保護、四民の働き
のおかげである。佛教ではたしか之
を四恩といつて居る、即ち君の恩、
佛の恩、國の恩、衆生の恩の四つで
ある。かく我々は恩を受けて生きて

革命派等が、既により主銀し居るのであるから我々も之に報ゆる所がなくはならぬ我々は祖先より受たる文明を一層進歩せしめ發達せ

(三) 本年賀茂新山家へける語點
 此世に生きて人生を樂むを互に相幫り、相助くるからで凡そ世の中には絕對の獨立なものは無い。如何なる人でも絕對に獨行することは出来。今日此の明は我々の奮力の努力、神徳の賜である。我々が安らかに衣食を得るは政府の保護、四民の働きかけである。佛教ではたしかに之を恩といつて居る、即ち君の恩、國の恩、衆生の恩の四つでかく我々は恩を受けて生きて居る。

るのだから我々も之に報ゆる
がなくてはならぬ我々は祖先より
文明を一層進歩せしめ發達せ

△金鑛

▽老汗溝及河東北溝 豐寧縣
に屬し豐寧の東、南六十里、黃姑屯
の西々南百二十三里、東八道河子、金鑛
の北西約二十三里に位し、所産金は、
河北流の河西及び河東の二個所にあ
り、地質は片麻岩及び片麻岩貫花崗岩
より成り、鑛脈は、是等岩石の裂罅及び

●京城府養州池臺丁目六拾八番地
一室式拾七坪
最低競買賃價銀百圓也
右地上二建設
木造單戸家建本家壹棟
此建坪積坪六合九勺
低級建築賃價銀拾圓也
有欲購者請至洽商可也
不動所有權人徐光錫
京府府監金百八圓六拾錢也
一等底拾七坪
最低競買賃價銀百圓也

京城地方法院

層間を充填せる石英脈にして二個所に於て探掘さる即ち老汗溝に於けるものと河東北溝に於けるものなり

京城地方法院

上二建設
道草費半家建本家壹棟
坪拾九坪六合叁分
觀資銀額金四拾八圓八拾錢也
院資申立人車東

改訂増補

商法総論

第百三十三卷
第三版
全一冊

全部改版増訂第三版小冊子發賣中

前刊全一冊上製金武庫・指五錢・重量六兩七匁・底料内地十二匁

本書は著者外遊中國終結となり、及く世界に混交せられし所を今回大修正して得た。幾多の創見並に内外の新知識を加へて、

本館より發行中

見醒せし上流婦人

<p>●對鏡新語 <small>高僧金の 銀の吉 英徳の王城に米国の下院</small> 上品 山田法 品 子野士</p>	<p>●日本開闢物語 <small>朝鮮の婚姻奇事</small> 朝朝新聞 花十題</p>	<p>●三人の愛兒を刺して <small>明妻日記 史詩大日の記 春の炎長篇小説 毒蛇長篇小説</small> 同窓女學生的惡戯會 花心に宿る人の命 小姑いた兄嫁の評判羽蝶</p>	<p>●自及妻の心狀 <small>東洋文庫 本館 二東振</small></p>	<p>●父を助けた自活の道へ <small>父を助けた 父を助けた</small></p>
<p>●對鏡新語 <small>高僧金の 銀の吉 英徳の王城に米国の下院</small> 上品 山田法 品 子野士</p>	<p>●日本開闢物語 <small>朝鮮の婚姻奇事</small> 朝朝新聞 花十題</p>	<p>●三人の愛兒を刺して <small>明妻日記 史詩大日の記 春の炎長篇小説 毒蛇長篇小説</small> 同窓女學生的惡戯會 花心に宿る人の命 小姑いた兄嫁の評判羽蝶</p>	<p>●自及妻の心狀 <small>東洋文庫 本館 二東振</small></p>	<p>●父を助けた自活の道へ <small>父を助けた 父を助けた</small></p>
<p>●對鏡新語 <small>高僧金の 銀の吉 英徳の王城に米国の下院</small> 上品 山田法 品 子野士</p>	<p>●日本開闢物語 <small>朝鮮の婚姻奇事</small> 朝朝新聞 花十題</p>	<p>●三人の愛兒を刺して <small>明妻日記 史詩大日の記 春の炎長篇小説 毒蛇長篇小説</small> 同窓女學生的惡戯會 花心に宿る人の命 小姑いた兄嫁の評判羽蝶</p>	<p>●自及妻の心狀 <small>東洋文庫 本館 二東振</small></p>	<p>●父を助けた自活の道へ <small>父を助けた 父を助けた</small></p>

<p>●對鏡新語 <small>高僧金の 銀の吉 英徳の王城に米国の下院</small> 上品 山田法 子對士</p>	<p>●日本開闢物語 <small>朝鮮の婚姻奇事</small> 月券 三十三</p>	<p>●愛兒看 <small>朝兒を 三人の</small> 自及妻の心狀</p>	<p>●時妻日記 <small>妻時大日の記 妻時大日の記</small> 上品 品香の庵万</p>	<p>●春の炎長篇小説 <small>毒蛇</small> 長篇小説 内陸 千代</p>	<p>●花心宿人の命 <small>同心女學生の惡戯會 くらたは花見遊藝會美人傳</small> 花心宿人の命</p>	<p>●父を助けた <small>父を助けた</small> 父を助けた</p>
<p>●對鏡新語 <small>高僧金の 銀の吉 英徳の王城に米国の下院</small> 上品 山田法 子對士</p>	<p>●日本開闢物語 <small>朝鮮の婚姻奇事</small> 月券 三十三</p>	<p>●愛兒看 <small>朝兒を 三人の</small> 自及妻の心狀</p>	<p>●時妻日記 <small>妻時大日の記 妻時大日の記</small> 上品 品香の庵万</p>	<p>●春の炎長篇小説 <small>毒蛇</small> 長篇小説 内陸 千代</p>	<p>●花心宿人の命 <small>同心女學生の惡戯會 くらたは花見遊藝會美人傳</small> 花心宿人の命</p>	<p>●父を助けた <small>父を助けた</small> 父を助けた</p>
<p>●對鏡新語 <small>高僧金の 銀の吉 英徳の王城に米国の下院</small> 上品 山田法 子對士</p>	<p>●日本開闢物語 <small>朝鮮の婚姻奇事</small> 月券 三十三</p>	<p>●愛兒看 <small>朝兒を 三人の</small> 自及妻の心狀</p>	<p>●時妻日記 <small>妻時大日の記 妻時大日の記</small> 上品 品香の庵万</p>	<p>●春の炎長篇小説 <small>毒蛇</small> 長篇小説 内陸 千代</p>	<p>●花心宿人の命 <small>同心女學生の惡戯會 くらたは花見遊藝會美人傳</small> 花心宿人の命</p>	<p>●父を助けた <small>父を助けた</small> 父を助けた</p>

自四版並文字天金箱入定價壹圓冊
 不思義 爲真百數十葉挿入前世紀遺物集
 谷

自四版並文字天金箱入定價壹圓冊
 不思義 爲真百數十葉挿入前世紀遺物集
 谷

戦ひ

戦ひ

眼前

々々と諸君の胸に響く夢の如き世の欲求
 閑室前にかけぬ人生の疑問を痛切な筆調に決解する
 著者(原)堀江

眼前

々々と諸君の胸に響く夢の如き世の欲求
 閑室中にかけぬ人生の疑問を痛切な筆調に決解する
 著者(原)堀江

代の衛生

代の衛生

露國政變

露皇太子罹病薨去說

露國皇太子殿下は猩紅熱に罹り薨去せられたり
と傳へらるる(紐育電報)

皇儲薨去後報

關し未だ何等の消息なきも時節草
金派の機嫌ならざるに於てはあらざ
るが如く(紐育電報)

露國皇帝皇后御所在

露帝はダウリード王宮に幽閉され皇后はキエフ
に送致されたりと傳へらるる(紐育電報)

ミハイロ大公攝政歿

歿に於て非公式に發表せられたる所によればミハイロ大公は
ウチタ大公は臨時政府を組織しニコラス皇帝の退位
何等關係なく憲法の制定成る迄元首の事を擔行す
ることとせらるるが在る(紐育電報)

保守派將軍慘殺とる

保守派の將軍は部下の爲めに慘殺せられたり(紐育電報)

芬蘭知事捕縛とる

フィンランド知事は露國軍の手に捕縛せられたり(紐育電報)

ロマノフ家紋章取下とる

露國にはロマノフ家紋章取下せられたり(紐育電報)

鄭家屯責任者處罰

鄭家屯事件に關する責任者處罰せられたり

湯氏革職と形勢不穩

張勳軍は湯玉麟に對し革職の命令を發せしむる形勢あるより十九
日湯氏の爲め歩隊砲兵三千を新軍に渡せり(奉天特電)

獨領事官在留申出拒絕

奉天駐露獨領事官は在留を申請せしむるの機嫌なきのみなら
ず無條約國民として在留せしむることを拒絶せられたり(奉天特電)

佛軍戰線前進公報

巴黎電報に據れば佛軍は十七日アル・オ・ア・ゼの北方に於て二
十米突進の戰線に前進せしむるが如く(紐育電報)

樞府副議長決

樞府副議長は長官の責任は此
際樞府副議長は長官の責任は此
際樞府副議長は長官の責任は此

尾藤武官著安

樞府副議長は長官の責任は此
際樞府副議長は長官の責任は此
際樞府副議長は長官の責任は此

陸軍各會議

威北の模範林

威北に於ける地方官模範林は
威北に於ける地方官模範林は
威北に於ける地方官模範林は

朝鮮各學校卒業式

京城各學校卒業式は廿四日午前
京城各學校卒業式は廿四日午前
京城各學校卒業式は廿四日午前

奉天米油支店

奉天米油支店は米油支店
奉天米油支店は米油支店
奉天米油支店は米油支店

奉天米油支店

奉天米油支店は米油支店
奉天米油支店は米油支店
奉天米油支店は米油支店

奉天米油支店

奉天米油支店は米油支店
奉天米油支店は米油支店
奉天米油支店は米油支店

奉天米油支店

奉天米油支店は米油支店
奉天米油支店は米油支店
奉天米油支店は米油支店

奉天米油支店

奉天米油支店は米油支店
奉天米油支店は米油支店
奉天米油支店は米油支店

奉天米油支店

奉天米油支店は米油支店
奉天米油支店は米油支店
奉天米油支店は米油支店

奉天米油支店

奉天米油支店は米油支店
奉天米油支店は米油支店
奉天米油支店は米油支店

奉天米油支店

奉天米油支店は米油支店
奉天米油支店は米油支店
奉天米油支店は米油支店

奉天米油支店

奉天米油支店は米油支店
奉天米油支店は米油支店
奉天米油支店は米油支店

奉天米油支店

奉天米油支店は米油支店
奉天米油支店は米油支店
奉天米油支店は米油支店

奉天米油支店

奉天米油支店は米油支店
奉天米油支店は米油支店
奉天米油支店は米油支店

支那通商

支那通商

支那通商は支那通商
支那通商は支那通商
支那通商は支那通商

支那通商

支那通商は支那通商
支那通商は支那通商
支那通商は支那通商

支那通商

支那通商は支那通商
支那通商は支那通商
支那通商は支那通商

支那通商

支那通商は支那通商
支那通商は支那通商
支那通商は支那通商

支那通商

支那通商は支那通商
支那通商は支那通商
支那通商は支那通商

支那通商

支那通商は支那通商
支那通商は支那通商
支那通商は支那通商

支那通商

支那通商は支那通商
支那通商は支那通商
支那通商は支那通商

支那通商

支那通商は支那通商
支那通商は支那通商
支那通商は支那通商

支那通商

支那通商は支那通商
支那通商は支那通商
支那通商は支那通商

支那通商

支那通商は支那通商
支那通商は支那通商
支那通商は支那通商

支那通商

支那通商は支那通商
支那通商は支那通商
支那通商は支那通商

支那通商

支那通商は支那通商
支那通商は支那通商
支那通商は支那通商

支那通商

支那通商は支那通商
支那通商は支那通商
支那通商は支那通商

支那通商

支那通商

支那通商は支那通商
支那通商は支那通商
支那通商は支那通商

支那通商

支那通商は支那通商
支那通商は支那通商
支那通商は支那通商

支那通商

支那通商は支那通商
支那通商は支那通商
支那通商は支那通商

支那通商

支那通商は支那通商
支那通商は支那通商
支那通商は支那通商

支那通商

支那通商は支那通商
支那通商は支那通商
支那通商は支那通商

支那通商

支那通商は支那通商
支那通商は支那通商
支那通商は支那通商

支那通商

支那通商は支那通商
支那通商は支那通商
支那通商は支那通商

支那通商

支那通商は支那通商
支那通商は支那通商
支那通商は支那通商

支那通商

支那通商は支那通商
支那通商は支那通商
支那通商は支那通商

支那通商

支那通商は支那通商
支那通商は支那通商
支那通商は支那通商

支那通商

支那通商は支那通商
支那通商は支那通商
支那通商は支那通商

支那通商

支那通商は支那通商
支那通商は支那通商
支那通商は支那通商

支那通商

支那通商は支那通商
支那通商は支那通商
支那通商は支那通商

支那通商

支那通商

支那通商は支那通商
支那通商は支那通商
支那通商は支那通商

支那通商

支那通商は支那通商
支那通商は支那通商
支那通商は支那通商

支那通商

支那通商は支那通商
支那通商は支那通商
支那通商は支那通商

支那通商

支那通商は支那通商
支那通商は支那通商
支那通商は支那通商

支那通商

支那通商は支那通商
支那通商は支那通商
支那通商は支那通商

支那通商

支那通商は支那通商
支那通商は支那通商
支那通商は支那通商

支那通商

支那通商は支那通商
支那通商は支那通商
支那通商は支那通商

支那通商

支那通商は支那通商
支那通商は支那通商
支那通商は支那通商

支那通商

支那通商は支那通商
支那通商は支那通商
支那通商は支那通商

支那通商

支那通商は支那通商
支那通商は支那通商
支那通商は支那通商

支那通商

支那通商は支那通商
支那通商は支那通商
支那通商は支那通商

支那通商

支那通商は支那通商
支那通商は支那通商
支那通商は支那通商

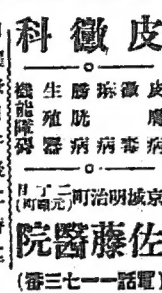
支那通商

支那通商は支那通商
支那通商は支那通商
支那通商は支那通商

小林躑月作 武内桂舟書

「をやらかして居るんです。僕は昨夜神田までお使ひに行つた歸りが、遅なりました。早くお歸りなさい。甘やない。星先生に、久し振りで、漫草へ想はつて、その魔窟の中を、通り、抜けやうと爲ると、大變下へ、人衆りが爲てゐるんです。何心なく立上つて止つて見ると、幸三郎さんの身軀（みなり）へ、（我様さんが緊乎と鎧り付いて泣いて居るぢやありませんか。僕は、昨程飛び込んで聲を掛けやうかと思つ

名刺
城京
太平堂
電話二七二二
番三三六七



手から渡した義姉さんの身代金の磁
額印も五十圓の金さへ持つて行け
義姉さんを此方へ横奪して来るの
飯前の仕事である」と、意旨相當の
猿智恵を發揮して言つた。

と、眞蔵の手紙らしいのと、雪んじいさん宛に書いて居る景中で、うちから、少時送られて来た。阿へ引込んで客子を聞いて居ると、阿母さん、簡く事の概略が分つたんでござねえと、憲吉は、自分の聞き得た事と照合して見たら、昨夜の十二階下で死んだのは、阿母さんの考へ次第では、村山のし阿母さんの考へ次第では、村山の

て居るぢやありませんか。僕は、針
を飛び込んで聲を掛けやうかと思つ

名刺

東京 太平堂
電話 三三二二
番 二三八七番

「をやらかして居るんです。僕は昨夜神田までお供ひに行つた歸りが、浅草へ廻はつて、その魔窟の中を抜け、さうな、足先手に、久し振りに逢ひあつたやうと爲ると、大變軒下に入り、八樂りが爲てるんです。何心なく立入ら止つて見ると、幸三郎さんの身軀が衰結さんが緊乎と縛り付いて泣いて

其五

高尚で美しい
淑女式白粉

クラブ
白粉

のお化粧に極つて居ります。其のお化粧の順序は下の通りで、先づ(一)額髪より起以上のウラツブ洗顔を、(二)顔を洗ひ、(三)額から頬へかけウラツブを身ツクリームを擦り込んで拭取り、(四)水短まで白くでるウラツブ粉を掌に取つて襟は顔より少し濃く、(五)牡丹弁毛で白粉を伸ばし、水刷毛で白粉をウラツブ粉を均らし、露タオルで押へて白粉を落付け、(六)ウラツブ粉白粉を含ませた眉刷毛の柄の方を斜く叩いて、紅を目の下から頬へかけて薄く刷き、(七)ウラツブ粉白粉を含ませた眉刷毛の柄の方を斜く叩いて、頬から襟へかけ能く刷均されます。高荷で美しい淑女式のお化粧が出来上るのでございます。

僅か一

まさ まさくち かは
 滴 百 日 薫 る 百 花 の 精 の 元 素 香 水
 瓶の白く保つゲンソ香水一丁先でも紙で包まれる元素香つけた人三は一般の定評なり全国の薬店
 香又は芳芳と物註文を 送料内地八割外甘酢ゲンソ液元香香水三箱 東京神田和良松原 松本製法 滋香
 香

小瓶三十銭
中瓶六十銭
大瓶合一百銭
特大全二圓

月
 足に御知らせ致します
 東京神田錦町三ノ一九 境掛けの子
 やく
 の方は三錢切手封入
 御手紙下さし身體に
 害なく通經する良法
 品賃本位
 三三三
 大坂西町四番

大正六年
一月一日
現在

鑛區一覽

醫學博士
醫學士
古城憲治
上野亮藏

附 鑛業權者住所錄 朝鮮鑛產地一覽

菊判全一冊 實價金六十錢、郵税金六錢

速かに
市内の諸君は電話を
地方の諸君は振替を
利用して!!!

□本書は一千部を限り増刷せず
□豫約申込者既に多數あり
□申込は最も急速を要す

大賣捌所

京城太平通丁目 京城日報社代理

汽船釜山出帆廣告

門司(神戸)大坂行
○立和丸 四月廿四日午後五時出帆
元立神戶浦通津 四月廿四日後五時出帆
○和歌丸 四月廿三日午後十時出帆
元立神戶新浦城津清津行 四月廿三後十時出帆
第三零三號丸 三月廿六日午後六時出帆
第四零三號丸 三月廿六日午後六時出帆
第三零三號丸 大阪行 三月廿六日午後六時出帆
佐須赤原(高藏、博多)行 三月廿六日午後六時出帆
○天眞丸 每月一日廿六日 四月午後十時出帆
日本郵船株式會社 本船取扱店 大池回漕部

△大連丸 四月九日 正午出帆
△瀋陽丸 四月廿六日
△潮州(汕頭)(元山出帆)
△安平丸 四月三日 午後十二時出帆
△宮島丸 三月廿一日 午後十二時出帆
△上美丸 三月廿五日 午後六時出帆
△湖北丸 三月廿五日 午後六時出帆
△基隆丸 三月廿五日 午後六時出帆
注意 客貨運送可也。客貨運送可也。客貨運送可也。
客貨運送可也。客貨運送可也。客貨運送可也。
客貨運送可也。客貨運送可也。客貨運送可也。
客貨運送可也。客貨運送可也。客貨運送可也。

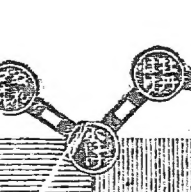
切符發賣所 電話二〇八
大阪商船會社 三川支店
內樞連速會社 京成支店
電話七〇八支店

[illegible][illegible]

〇〇金
 南洲丸 每日午前 仁川發
 運載貨物及客行李

三河共同汽船社出帆
 ○波大連行 日松青森府會館
 ○東北大連行 三月廿二日午後入港
伏見丸 三月廿二日正午出帆
大阪府下江津船場取付可也此後同様に上り
阿波共回汽船株式會社
 本岡四丁目(電話一七三番)
 仁川代理店 野口商會
 釜山代理店 西澤三郎
 元山代理店 山口通都
 三浦代理店 河村巡遊店
 京城販賣店

至大阪商船社出帆



○廣興丸 三月 日 本舖發
○慶興丸 三月廿四日 本舖發
○慶興丸 三月廿四日 本舖發
○公升丸 三月 日 本舖發
○江原丸 三月 日 仁川發
○濟水丸 三月廿四日 仁川發
○晉州丸 三月 日 仁川發
○錦江丸 三月 日 仁川發

[illegible][illegible]
